

2010年度事業報告書

2010年3月1日から2011年2月28日まで

作成 2011年4月13日

備付 2011年5月12日

柏原市旭ヶ丘4-698-1

大阪教育大学生協同組合

理事長 米川 英樹

組合の事業活動の概況に関する事項

1 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目		主な事業品目等
供給及び 利用事業	物品供給	書籍、文具、教育機器、衣料品、電気製品、その他組合員の日常生活に必要な物資の供給
	サービス提供	国内・海外旅行等の旅行業務を取り扱う事業 マンション、下宿の斡旋および管理する事業 その他日常生活に必要なサービスを提供する事業
	サービス提供	組合員に食事を提供する事業
その他		組合員のための生命共済、火災共済の業務受託事業

2 事業の経過及びその成果ならびに対処すべき重要な課題

1 事業の経過及びその成果

(1) 事業方針

「組合員が自ら参加し、身近に感じる生協を目指します」「店舗の基盤づくりと組合員の利用実態に合わせた店舗運営を行います」「魅力ある大学づくりに貢献する生協を目指します」を2010年度の基調としました。

(2) 経済および事業環境

長引くデフレ経済の中、組合員の生活は一層厳しさを増しており、昼食にかかる価格や下宿生の1か月の生活費は年々減少しています。また、大阪教育大学は第二期中期計画の初年度を迎え、運営費交付金の減少など大学も厳しい経営環境の中にあります。

(3) 事業の状況

2010年4月に大学および教育振興会の協力のもと、生協でも約1億円の投資(当期の償却は2071万円)をして第1食堂をリニューアルし、約150席を増席しました。しかし全体としては客数が落ち込み、様々な手を打ちましたが年間累計で約4万人(1日当たり約150人)減少し、一人当たりの利用高も減少しています。また、第二期中期計画初年度の今期は、大学への納品も金額・件数ともに減少しました(約3,500万円)。新学期事業ではパソコンやミールカード利用などは伸張したものの、家具家電で供給を落としたため、供給金額としては伸張要因にはなっていません。

生協としては上記のように厳しい供給状況の中、大規模な投資の償却の初年度でしたが、全体として経費は抑制でき、当期剰余は1,116万円と昨年よりも260万円上積みすることができました。

また、第1食堂のネーミング募集や学生委員会を中心にとりくんだ「オリジナルキューピー」の公募、ひとことカードの強化など、組合員が生協の事業に様々な形で参加する取り組みをすすめました。

(4) 業績

1) 組合員数及び出資金

当期末の組合員数は、4,542名で、前期に比べて1,092名の減少となりました。期中の減少は、附属天王寺中高生徒1,023名の脱退や新入生組合員の加入率減少(約4%)によるものです。出資口数は3,126口減少し、120,246口、1億2,024万円となりました。

2) 供給事業

供給高は、6億6,503万円で、前年から約6.5%、予算比で11.0%減少しました。理由は、前述した大学納品の校費利用の減少(約3,500万円)のほか、教員採用試験対策講座の利用減少(約400万円)、客数減による食堂の利用減少(約640万円)などが主な要因です。一方、前期不振だった旅行サービス部門では、海外旅行(+852万円)、自動車教習所(+1,385万円)などの利用が回復しました。

供給剰余は利益率の高い分野での供給不振もあって、1億7,653万円と前年比で5.5%、予算比で10.9%の減少となりました。

3) その他の事業

学生総合共済の手数料は、2009年から始まった短期共済の2年目となり、前年比48.1%増の180万円となりました。その他の利用収入は、貸しロッカーの増設による収入増(約40万円)、学生生活110番手数料の収入増(約35万円)等があり、合計で1,418万円となりました。

4) 事業経費

人件費は、前年比で372万円(4.0%)減少し、8,985万円になりました。正規職員の人数減による職員給与の減少(575万円)が主な要因です。

物件費は、前年比で698万円(8.6%)減少し、7,419万円になりました。前期に改装費用として約1,500万円を消耗品計上していたものが当期はないため、投資による減価償却は1,150万円増加していますが、全体としては減少しました。

5) 事業外損益

事業外収入は、1,750万円で前年より275万円増加しています。卒業後3年経過した方の出資金を利益計上したものが239万円増加したのが要因です。事業外費用は、411万円で昨年より12万円増加しました。日配品の日々の廃棄ロスが主なものです。

6) 特別損益

特別損失は85万円と、前年より114万円減少しました。前年、不良在庫や固定資産の除却をまとめて行ったためです。

7) 当期剰余金

事業剰余金は3,745万円とほぼ前年並みの結果となりました。供給高の減少により供給剰余金が減少したものの、事業経費を前年より押さえることができたためです。

税引き前剰余金は、1,656万円と、前年より362万円増加しましたが、前述のとおり事業外収入が増えていること、特別損失が減少したことが要因です。税引き後の当期剰余金は、1,116万円となりました。

2 対処すべき重要な課題

(1) 事業の展望と課題

コンスタントに利益を残し続けられる経営体質にはなってきましたが、供給高は4期連続で減少しています。組合員や保護者の厳しい経済環境は依然変わることなく、仕送りやアルバイト収入が減少する中で食費は切り詰められ、生協店舗の利用も減少しています。厳しい雇用情勢・低い就職内定率の中、学生組合員の経済的不安、将来に対する不安は年々大きくなっています。大学の置かれている状況からも、運営費交付金の減少などから校費の支出が増加することは想定できません。

供給高＝組合員の利用の回復のため、まずは、多くの組合員が日々利用する店舗の質を高め、来店客数を増やすことが大きな課題です。また、大学のパートナーとしてできる「学生支援」とは何かを考え提案していくことが、これからの生協事業にとってのもう一つの大きな課題です。これまでの「教員採用試験対策」への協力にとどまらず、奨学金やキャリア・就職支援に関わる事業についても検討し、大学に発信していきます。

(1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位：(千)円

項目	2007年度	2008年度	2009年度	本年度
組合員数	5,987	5,890	5,634	4,542
出資金額	139,306	127,180	123,272	120,146
供給高	745,529	730,344	710,935	665,032
利用事業収入	12,917	11,670	11,639	14,180
その他事業収入	2,283	1,965	1,217	1,803
経常剰余金	38,444	26,203	14,608	17,134
総資産	220,644	221,336	248,158	245,448
純資産	91,686	96,086	100,740	108,779

(2) 供給事業の状況表

1) 部門別・業態別供給高の状況

単位:(千)円

項目	2007年度	2008年度	2009年度	本年度
[部門別供給高]				
物品	323,501	290,516	272,382	232,066
書籍	94,669	88,111	88,003	71,360
食堂	178,648	196,053	187,358	180,973
旅行	83,963	78,985	55,430	57,616
その他サービス	124,891	132,009	107,469	122,708
合計	806,045	785,951	710,935	665,032
[業態別供給高]				
店舗	795,275	778,991	700,005	661,690
カタログ	10,770	6,960	10,930	3,342
その他				
合計	806,045	785,951	710,935	665,032

2) 供給高の事業所別内訳

単位:(千)円

店舗名	2007年度	2008年度	2009年度	本年度
柏原複合店	579,653	551,309	489,632	452,794
天王寺複合店	7,366	6,876	4,903	3,792
基本食堂	143,849	151,973	143,545	141,084
喫茶	20,744	23,889	25,003	20,265
レストラン	22,174	22,867	20,947	21,180
自販機	32,259	29,036	26,905	25,915
合計	806,045	785,951	710,935	665,032

(3) 受託共済事業状況表

1) 加入者数の状況

共済事業の種類				契約件数		
		元受団体名	契約型	当年度	前年度	前年比
学生総合共済	生命共済	大学生協共済連	C型	1	1	0.0%
			S型	1,067	1,785	-40.2%
			J型	4	5	-20.0%
			G型	1,109	495	124.0%
			R型	0	0	0.0%
			小計	2,181	2,286	-5.6%
	火災共済	大学生協共済連	K型	0	1	0.0%
			KY型	405	655	-38.2%
			KT型	429	208	106.3%
			小計	834	864	-3.5%
合計				3,015	3,150	-4.3%

2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

単位:(千)円

共済事業の種類	元受団体名	元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払金額		
		当年度	前年度	前年比	当年度	前年度	前年比	当年度	前年度	前年比
生命共済	大学生協共済連	14,603	6,203	135.4%	142	172	-17.4%	6,095	7,783	-21.7%
火災共済	大学生協共済連	851	391	117.6%	1	0	0.0%	7	0	0.0%
合 計		15,454	6,594	134.4%	143	172	-16.9%	6,012	7,783	-22.8%

(注)掛金は2010年3月～2011年2月に成立した金額、支払いは2010年3月～2011年2月に給付した件数および金額で表示しています。

3 増資および資金の借入その他の資金調達状況

資金調達内訳表

該当する事項はありません

4 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

設備投資概況表

施設・設備名	所在地	摘 要
食堂 POSレジ	柏原市旭ヶ丘	10年4月 取得
食堂 ホットワゴン	柏原市旭ヶ丘	10年10月 取得

5 他の法人との業務上の提携

他の法人との業務上の提携

該当する事項はありません

6 他の会社を子法人等および関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得

新規出資子法人及び関連法人等

該当する事項はありません

7 事業の全部又は一部の譲渡又は譲受け、合併その他の組織の再編成

該当する事項はありません

8 教育事業等の状況

単位:(千)円

項 目		金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		0
教育事業等の使途		
科 目	内 容	金 額
教育文化費	組合員向け加入案内、学生委員会活動費用他	3,567
広報費	大学生生活ガイドブック、コープ文具カタログ他	1,148
調査研究費	海外・国内ストアコンパリゾン研修、事業連合研修他	1,386
合 計		6,101